

情報発信を通じて実現したい

～挑戦的に活動できる環境を～

2024.10.18(金)

しらたまサークル

代表：経営学部経営学科3年 阿部ひかる

副代表：ネットワーク情報学部3年 和田優翔

1. 取り組み内容の要約

私たち「しらたま」は、学内で発生している情報格差に課題を感じ、専修大学の情報を発信することで、「専修大学生が大学をうまく活用し、主体性のある学生を増やすこと」を目的に活動しています。Instagramでの情報発信や、投稿を検索できるアプリ「しらたまサーチ」の開発を行い、総フォロワー数550人を達成しました。今後はフォロワー1万人を目指し、イベント開催や組織拡大を計画しています。

2. 取り組みの動機

しらたまを立ち上げたきっかけは「専修大学生が大学をうまく活用し、主体性のある学生を増やしたい」と考えたからです。私たちは、大学で「目標が見つけれずやる気を見出せない人」や「目標がありながらも実現できなかった人」を見てきました。そして、彼らの抱える課題は、「情報が不足し、思考領域が限定されていること」にあると考えています。ここでいう「情報」とは、知識や経験、考え方など、各々が持つすべての情報を指します。この情報の量や偏りが、各々の「思考領域」を決定づけており、行動選択に大きく影響を与えています。

そのような「思考領域」による差は大学内でも多く見られます。例えば、図書館の利用方法を知っている人と知らない人では、本に触れる機会に差が生まれます。また、大学職員が学生のためにイベントや情報発信を行なっていることを知っている人と知らない人では、In Campusへの関心度に差が生まれます。このような違いが、最終的には学習への意欲や、目標達成度にも影響してくると考えています。

私たちは、そのような差をなくし、目標がある人には専修大学をより活用する方法を提供し、目標がない人には、専修大学内でやりたいことを見つけるチャンスを与える存在になりたいと思いました。このように、専修大学生が大学をうまく活用し、主体性のある学生を増やしたいと考え、「しらたま」を立ち上げました。

3. 取り組み内容

しらたま設立後、まずは「Instagramでの専修大学に関する情報発信」活動を行いました。

私は経営学科の授業で、専修大学の課題に対する解決策を考えるグループワークに何度か参加しました。その中で、ほぼ毎回取り上げられる課題が「情報の分かりにくさ」でした。例えば、「通知が届かない」「文字が多くて読みづらい」など既存のツールに関する不満や、「情報が分散していてどこに何が載っているのか分かりにくい」といった情報発信の場が統一されていない点が挙げられます。私自身も、イベント情報を見逃して「もったいない」と感じる経験があり、これらの問題を他人事とは思えなくなりました。そこで、どうすれば学生が情報を目にしようとするかを考えた時に「発信場所」を Instagram にし、学生に寄り添う情報発信をするべきだという考えに至りました。なぜなら、私たちを含む多くの大学生は Instagram を利用していることから、情報の見逃しが減るだろうと考えたからです。1日1回は開くであろう Instagram を、しらたまの情報発信場所にするだけで、日常生活の中で自然に専修大学の情報を見ることに繋がると考えました。

私たちはしらたまアカウントでの記事作成において大切にしていることが3つあります。1つ目は、記事の投稿時期です。しらたまアカウントで発信する内容は、In Campus で掲載されるイベント・プログラム情報、教務課などの学校組織やサークル、プロジェクト活動、コピー機やバスチケットの利用方法など多岐にわたります。これらの膨大にある専修大学の情報を、学生から「丁度知りたかった」と思ってもらえるように、開催時期や情報の旬に合わせて臨機応変に投稿計画を立てています。

2つ目は、記事の質です。先述の通り、学生は「情報の読みづらさ」を抱えています。そこで写真や図、色を用いて説明し、誰が見ても理解できる説明を心がけています。そのため、作成した記事をメンバー内で確認し、修正することを習慣にしています。

3つ目は、記事のビジュアルです。私たちは、内容を分かりやすく説明しただけで興味を持ってもらえるとは思っていません。そのため、いかに「楽しそう」だと思ってもらえるかを大事にしています。例えばイベント情報であれば、そのイベントの雰囲気にあったデザインで飾り付けをし、まずは「楽しそう、これなんだろう」と思うきっかけをビジュアルに込めています。このような方法で、大学生に寄り添い、学生目線で情報を分かりやすく届ける Instagram での発信活動を続けています。

先述した通り、しらたまは「専修大学生が大学をうまく活用し、主体性のある学生を増やすこと」を目標に掲げており、その一環として情報発信を行なっていますが、しらたまの活動は情報発信だけではありません。2024年10月より、しらたまの投稿検索兼専修大学が提供するツールをまとめたパッケージアプリ「しらたまサーチ」の開発を行いました。

しらたまは Instagram を中心に情報発信を行なっているのですが、Instagram の使用上、作成した投稿は投稿した順番に並べられ、投稿が増えると同時に目的の情報が見つけにくくなってしまいう課題に直面していました。そこで、ノーコードアプリ開発ツールである「Glide」を用いてしらたまの投稿を検索することができる Web アプリケーションの制作に取り掛かりました。制作する中で、担当である副代表の和田の提案により、ただしらたまの投稿を検索するだけでなく、機能要件に「ツール一覧」を追加しました。「ツール一覧」

とは、大学生活で頻繁に使用する「専修大学 HP」や「In Campus」「レスポ」などへのリンク一覧にしてまとめたものです。これにより、ブラウザで検索せずとも「しらたまサーチ」から飛ぶことができ、専修大学生のタイムパフォーマンスを向上させることを実現します。このように専修大学生の使い勝手を一番に考えたアプリケーションの開発により、専修大学が提供している情報へのアクセスをより簡単にすることができると考えています。

4. 苦労した点

活動の中で、私たちが直面した課題は大きく2点に分けられます。まず1つ目は、フォロワーの獲得です。「しらたま」は、Instagram で発信する情報の質には確かな自信を持っていましたが、ただ質の高い情報を提供するだけでは、アカウント自体の認知度を上げることは難しいと実感しました。実際、立ち上げから2ヶ月間はフォロワー数の伸びに苦戦しました。そこで、黒門祭に出展しているサークルに対して「黒門祭でのイベント内容を紹介させていただけないか」と協力をお願いし、まずはサークル内での認知度向上を図ることにしました。この活動を通じて、各サークルとの相互フォローが実現し、関係者間で「しらたま」の認知が広がることでフォロワーの増加につながりました。

2つ目は、組織運営です。設立当初は立ち上げメンバーである2人だけで活動を行っていました。しかしながら、少人数での活動に限界を感じ、メンバー募集を行い、現在は4人体制で活動を行っています。立ち上げメンバーである2人は、専修リーダーシップ開発プログラムに2年間所属していた経験があり、そこから、主体性を引き出す環境構築や互いを思いやるフォロワーシップの重要性を学びました。そこで、しらたまではメンバーを増やすにあたり、私たちはメンバーの学生生活の充実も視野に入れた取り組みを行いたいと考え、スキルアップ研修の実施やしらたま旅行の実施、徹底した仕組み化により、活動しやすい組織を実現しました。

5. 成果・課題・達成したこと

立ち上げから約7ヶ月の間に、私たちは4つの大きな成果を達成しました。

まず1つ目は、2024年10月時点で総フォロワー数が約550人に到達したことです。しらたまは専修大学生を対象にした情報発信を行っており、多くの学生に認知されるようになりました。フォロワー数の増加は、私たちの活動が学生の役に立っていることの表れだと感じています。

2つ目は、Instagramでのフィード投稿の閲覧数が最大約3,200回を記録し、現在では1つの投稿に対して平均で約1,500回以上閲覧されています。フォロワー以外の学生にも投稿が届いていることは、しらたまの情報が大学内で広く受け入れられている証拠です。

3つ目の成果として、専修大学が提供しているツールをまとめたパッケージアプリ「しらたまサーチ」の開発を行いました。このアプリは、大学の施設利用や学内サービスの情報を簡単に検索できるもので、学生生活をより充実させるためのサポートツールです。

そして最後に、私たちはこれまでに教務課、学生生活課、キャリア形成支援課、学生相談室、体育事務課、CALL 自習室、図書館、鳳祭実行委員会など、大学内のさまざまな部署にインタビューを行い、専修大学と学生をつなぐ架け橋として活動してきました。これらの組織と協力し、学生にとって有益な情報を提供し続けることで、大学生活をサポートするためのネットワークを築いています。

これらの成果を通じて、しらたまは専修大学生の情報をより身近なものにする活動を続けています。

6. 今後の展望

私たちしらたまの、展望は4つあります。

1つ目はフォロワー1万人の達成です。今は在校生をメインに情報発信をしています。これから専修大学への入学を希望する高校生もフォロワーになってもらえるような企画を考えるつもりです。

2つ目は、イベントの開催です。私たちがこれまで知ってきた専修大学の便利なツール、サービス、その他学生が持つべきアプリなど、しらたま主催のイベントを開催したいと考えています。

3つ目は、サークルや学校組織とのコラボ企画です。各サークルが普段行っている活動を、サークル内に留めるのではなく、1つのイベントとして行い、サークルの人達の凄さや活動の面白さを広めたいと考えています。また、図書館やキャリア形成支援課の方が行なっているイベントにしらたまの持ち込み企画を提案し、学生視点から、より学生に周知できるような企画を打ち立ててみたいです。

最後は、組織を大きくしInstagram アカウントを部門別に分割することです。専修大学の情報は、「イベント情報」や「スケジュール情報」「サークル情報」など、情報はいくつかの属性に分けることができます。その属性ごとにInstagram アカウントを開設し、ほしい情報をピンポイントに提供することができる組織にしたいです。

しらたまはまだ4人という小さな規模で活動していますが、専修大学と学生を繋ぐ橋渡しとなりながら、本来の目的である「専修大学生が大学をうまく活用し、主体性のある学生を増やす」を実現していきたいと考えています。



Instagram

専修大学生のための発信アカウント「しらたま」